

みんなのオアシス

村へのご意見や皆さんの身近で起こったことなど、お気軽にご応募ください。宛先は、役場企画課広報統計係「みんなのオアシス」です。お便りお待ちしております。

「路線バスの乗降について」

・路線バスがどこでも乗降できるということ、お年寄りの人はとても助かると思いました。

「交流ひろば」を毎月とても楽しみにしています。編集はとも大変だと思えますが頑張ってください。

(Y・Yさん)

「イラストのコーナー」

楽しみにしています」

・あけましておめでとうございます。

わたしはいつもしようわ広報を楽しみにしています。楽しい記事がありがとうございます。

私が一番好きなコーナーは、イラストのコーナーです。1月号はイラストのコーナーがなく少し残念でした。2月号を楽しみにしています。

(I・Yさん)

ひふたツル

・今年成人式を済ませた人たちに問う。昭和村の村づくりの最良のあり方はいかが？

・各家庭で子どもの数が減っていくので年寄りとして張り合いが悪い。

・「ちっちゃなこてん」にたくさん子どもが出来るようにしてほしいです。



利休忌

歳時記

わび茶の伝統を受け継ぎ、現代の茶道の基礎をつくりあげた安土・桃山時代の茶人、千利休。

千利休は、信長の時代には政治にもかかわり次第に権力を持つようになりました。

天正10年に本能寺の変で信長が倒れ、秀吉が天下統一を達成すると、側近として重用されます。この後利休は茶の湯を大成させ、絶大な権勢を誇りました。

しかし、やがて利休と秀吉の間には少しずつ亀裂が生じ始めます。天正19年、秀吉の弟で利休とも非常に親しい間柄であった秀長が没すると事態は急変します。

利休が秀吉の命により切腹したのは、2月28日（新暦では3月28日）。その後、この日を利休忌として、墓前にはよく菜の花がそえられています。

皆さん、ぜひご利用ください

第1・3土曜は図書室へ

期 日	時 間	図書室の特集
3月 6日(土)	午前10時～午後2時	魔法使いがいっぱい
3月20日(土)	〃	〃

- 内容 図書の貸し出し、紙芝居など
- 問い合わせ 村教育委員 会事務局 ☎ 24-5120

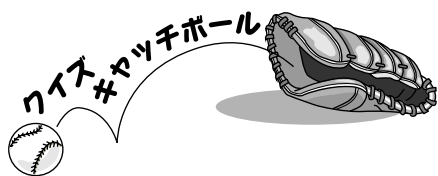


第10回昭和村生涯学習大会

オスマン・サンコンが講演

第10回昭和村生涯学習大会を開催します。皆さんぜひご来場ください。

- 期日 3月6日(土)
- 時間 午後1時30分～
- 場所 村公民館多目的ホール
- 講師 日本ギニア友好協会広報官 オスマン・サンコン氏
- 演題 「視力6.0が見たニッポン」



■もんだい

1月11日に昭和村成人式が行われました。

今年の新成人は113人(男54人、女59人)。村の未来を担う立派な人になることを期待しています。

では、問題です。今年の成人式ですが、昭和村は第?回目となるでしょうか。

応募規定

▶村に住んでいる人・勤めている人ならどなたでも応募できます。▶賞品=正解者の中から5人に図書券1,000円分を差し上げます。▶締め切り=3月3日(水)。▶発表=3月号「広報しょうわ」。▶答えは必ずハガキに書き、下記要領で応募してください。

こたえ
住所(行政区も)
氏名・年齢
TEL
投稿欄…広報でとりあげてほしいことや気がついたことなど書いてください。

切手	37911298
	昭和村大字弁井三八八
	昭和村役場
	企画課
	広報統計係

▷1月号のクイズの答えは、「サル」でした。応募総数は22通。当選者は次のとおりです(敬称略)。おめでとうございます。

- | | |
|-------------|------|
| ★倉澤甚平(62歳) | 根岸 |
| ★横坂篤(10歳) | 田部 |
| ★兵藤恵美子(23歳) | 北生 |
| ★林善一郎(90歳) | 越生 |
| ★伊藤友香(13歳) | 長者久保 |

わたしもillustrator

皆さんからのイラストを
お待ちしております。

▶とくくじら



いきいきサークル

22

入園前の子とお母さんをサポート



のびのび
くらぶ
代表/金井千栄子

3年前、村のつくしほクラブのメンバーで発足。活動は子育て支援が目的で、対象は保育園入園前の子どもと親。月3回(水曜日)、地域活性化センターで活動しています。現在、会員は親子16組。これまでに60組以上が活動しています。内容は歌遊びのほか、夏祭りや運動会、クリスマスなど季節行事もいっぱい。「子どもだけでなく、子育て中のお母さんのお手伝いが少しでもできれば」と金井さん。「4月には村の子育て支援センターができるので、それを有効に活用し、来年度の活動を検討していきたいです」。入会希望の人は金井宅☎24-6450までまずご連絡を。

広報文芸

俳句

短日や陽を追いかけて蕎麦を打つ
関上喜代始

短日や玉追ふ老の恵比須顔
横坂 庄三

短日や下枝をせかすチャイムの音
新木 武治

良き年の来たれと願ひ障子張る
梅沢 まつ

独り居も慣れて久しく冬鏡
須藤 澄子

同じ事繰り返す主婦日の短か
坂田 安男

草紅葉家歴をさざむ拓の墓
林 町子

秋晴や福祉まつりの人となり
大河原 一郎

短歌

安値ゆえ出荷もならず雪の中より掘り出して抱く無事なキヤベツを
新木 たき

テーブルを一つふやして元旦の夕餼賑はふ孫子揃ひて
阿部トシ子

亡夫の干支の申年いかなる年になるや初詣もせず唯ある我に
星野 利子

夕焼けと街の灯包む様名山新年となる明日に夢継ぐ
青木テル子

山里は暮れなすみつ武尊峰の雪映えてをり残る夕日に
林 マス

孫に背を押しもらひて初詣で今年は受験が並びて祈る
堤 あさ江

喪に服す年にあれども仏壇に言ひ訳しつつ元旦を酌む
小林 文吉

風冷ゆる独居の窓辺にさす光中天にある半月さゆる
須藤 澄子